

## Photo Essay



### メナラ庭園

マラケシュ (Marrakesh) / モロッコ

撮影・文 / 日下部芳志

12世紀、ムワッヒド朝（チュニジア以西の北アフリカとイベリア半島南部を支配したベルベル人最大の王朝。首都マラケシュ）の広大な庭園。中央に貯水池があり、周囲はオリーブの林。

その昔は、スルタンや高僧だけの憩いの場所。今は、若者達のアート・スポット。背景のアトラス山脈から、地下水を引いていると聞いた。「マラケシュ」とは“早く歩け”の意。昔は治安が悪く、もたもた歩いていると、身ぐるみはがされたとか。

(1998年10月撮影)